



ロータリーは  
分かちあいの心

# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinain-rotary.com](mailto:info@meinain-rotary.com)



07-08年度 RI会長  
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30  
■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号  
名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054  
■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

## 第801回

2008年1月15日(火) 晴 第25回

～ロータリー理解推進月間～

斉唱 それでこそロータリー  
出席 会員 73名 (出席率算入人数 65名)  
出席 48名 出席率 73.85%

### 1月の結婚記念日

11日 恒川 誠二さん 17日 加藤 宜之さん  
18日 中村 勝さん 22日 黒田 康正さん  
26日 小澤 久隼さん 29日 佐々木 眞さん

### ◆会長あいさつ◆

会長 大隅 紀郎さん

先日、竹中平蔵さんの講演会に出席しました。竹中氏は日本の現状について3つのポイントを挙げられました。1つは中年症候群。日本の経済は若手ではなく中年を主体として動いており、諸外国に比べて進歩がなく冒険しようという気がない安全性ばかりの後進的な経済活動になっています。



もう1つは、最近「好景気」と言われていますが、日本全体の指数からいくとまだデフレであるということです。遊興費・嗜好品・設備などの生活充実品の消費が成長しておらず、これがデフレの一番大きな要因であると説明されました。

3つめが株価の下落です。昨年の日本の株価の平均は、一昨年に比べて11%ダウンしています。アメリカから始まったサブプライム問題で金融危機がヨーロッパにまで及んでおりますが、それでも一昨年に比べてアメリカの株価は6%上昇しています。それだけ日本の株に魅力がないということです。日本は法規制が厳しく、優秀な企業の株を買っても役員を送り込めない、どうかすると乗っ取りじゃないかということで第三者割当ての増資をして逃げてしまう。日本の技術を持ってこれないことも理由の一つです。外国の場合ですと防衛増資はありませんし、技術も持っていったいいことになっています。それが日本への投資活動、ひいては日本の株価に影響しているというのが現状ではないかと思えます。

それから建築関係の不況。私は非鉄金属の業界ですけれども、ビルの水道の蛇口など水周りに使用される非鉄金属が全然売れないという問題が出てきます。住宅関連ということであれば、トラック業界・資材・原料・家電

品などが非常に大きな影響を受けます。そういうことで、私は今年の経済問題について大変危惧しております。

諸外国では、国営会社が外貨準備を運用して利益を上げようとしています。日本ではその外貨準備高に相当するお金のあり場所がさっぱり分からないのです。国家予算もどこにどれだけのお金があるのか分かりません。なぜかという、それを管理する場所や法律がないからです。官僚に任せておいても日本の財政を管理するところはどこにもない。郵政を民営化することによってその財産が全部表へ出てきました。その他にも特別法人というのがあり、特別国家予算というものもあります。これも民営化することによって全部表へ出せば、日本の財産が本当にどれだけあって、どこにいくら金があるかという事がよく分かってきます。

我々は建築から輸送、金属、色々な業界のメンバーがそろっておりますので、ぜひ各人が情報を出し合って不景気にならないように努力できるようにしていただきたいと思っております。

### ◆幹事報告◆

幹事 杉山 隆秀さん

1. 改装のため事務局の部屋が2002号室に変わります。  
期間：1/18～1/30日 (電話番号は同じ)
2. 99回国際ロータリーのお知らせ  
6/15～6/18 アメリカ・ロサンゼルス  
ご希望のかたは事務局までお申し出ください。
3. 各テーブルに配りました中部経済新聞に、名南RCがタイへ寄贈した浄水器の記事が載っております。ぜひご覧ください。

### ◆ニコボックス◆

\*急な寒さで!皆様、ご自愛下さい!

小坂井重樹さん 佐々木 眞さん 犬飼りさ枝さん  
鈴木 厚司さん 杉本 勇さん 三浦 和人さん  
鈴木 清詞さん 新原 尚さん 田中 省三さん  
伊藤 博昭さん 児島 徳和さん 武藤 正行さん  
山崎 淳さん 細井 俊男さん 三浦 隆さん  
本多 利郎さん 林 正人さん 鈴木 享さん

\*先週お休みしました。新年明けましてお目出とうございます。 林 隆二さん

\*松の内も明けて、ますます若返ることのみ考えています。顔もシワがとれてかかみもち…

### 第803回例会(1月30日)のご案内

4RC合同例会

ホスト：東南RC 於：名古屋マリオットアソシアホテル  
16F「タワーズホールルーム」

登録 17:30～ 例会 18:00～

水野 俊男さん 菊岡深智子さん

\*結婚記念日、回数忘れしました。今後共よろしく願います。又、鈴木厚司さん、秋の家族会のCDありがとうございました。合掌。 中村 勝さん

\*おかげさまで、創業80周年を迎えることができました。 猪村 美之さん

\*今日は心地よい一日でした。 鈴木 享さん

本日合計 32,000円 累計 1,244,000円

## ◆委員会報告◆

●出席委員会 委員長 中村 勝さん  
上期ホームクラブ100%出席者の表彰が行われ、記念品が贈られました。



小野 雅之さん



大隅 紀郎さん



太田 敦士さん



杉山 隆秀さん



鈴木 厚司さん



山崎 淳さん

## ◆クラブフォーラム◆

### ●長期ビジョン特別委員会報告

長期ビジョン特別委員会 副委員長 鈴木 清詞さん

今日は過去に行われた長期ビジョン特別委員会から報告をさせていただきたいと思えます。

第1回の長期ビジョン特別委員会は平成17年11月8日に開催されております。委員長に会長エレクトがなり、毎年持ち回りで委員長を交代して1年に2回ずつ開催しております。

発足の趣旨ですけれども、ロータリーは単年度でそれぞれ役員が交代していく制度になっております。いい面もありますが、役員が替わることによって長期的なビジョンが見えてこないといったことがあります。そこで長期ビジョン特別委員会で、3年～5年先を見据えた長期ビジョンを策定して時の理事会に答申していく、メンバーはなるべく若いメンバーを中心にして将来の名南RCをどういったクラブにしていくか話し合う、そういった趣旨で発足しております。

第1回長期ビジョン特別委員会では、新しい奉仕の在り方やどういった具体的な行動計画を作っていくかということが話し合われました。奉仕活動を行うための資金を捻出するため「コーヒー1杯例会」をやったかどうか、社会奉仕を単年度にするのか継続してやっていくのか、また退会者を防ぐためにどのようにしてクラブの質を向上させたいかということが話し合われております。

第2回では、各委員会を統廃合して委員会の数を減らしてはどうか、楽しい明るい例会にするためにはどうしたらよいか話し合われております。

第3回では、四大奉仕の在り方やハワイ訪問について、そして15周年についての費用的な反省などがされました。また、長期ビジョン特別委員会の中で話し合われたことがどういった形で生かされていくのかということが問題になりました。毎年委員長が替わって、時の会長の思いが長期ビジョン特別委員会に反映されていくため、

会長に左右されない長期ビジョンの進め方や継続性、年に2～3回の活動をどのように確立していくかということです。

それから第4回ですけれども、ニコボックスの資金の在り方、ポイントさんの支援をどうしていくか、それからロータリーを原点に戻したいというようなことが大隅委員長から出ております。

第5回は議事録がないので飛ばして、第6回ですけれども、出席免除規定のクラブ細則の在り方、市内23ロータリークラブ合同奉仕プランについて、また入会規定の入会審査でどこまでロータリーとして調査をし、紹介者にどのくらい責任を持ってもらうのか、その方針を明確にしたほうがいいのではないかということが話し合われました。

先回の第7回では、一番の問題点として第1回から第6回までの長期ビジョン特別委員会があげられました。長期ビジョンの在り方は、「3年から5年先を見据えて、当クラブ自身の在り方や方向性、奉仕の在り方を委員で話し合っ、明確なビジョンのもとに計画的に運営ができるよう、理事・役員会に提案していく」ということですが、これまで「どうしていったらいいんだろう」という話し合いはされても「こうしていくべきだ」という結論が明確に示されたことはありませんでした。

また、本来の長期ビジョンを考えるのであればどういことを話し合うべきか、ということについて話し合いがされました。将来の会員数、あるいは予算規模をどのようにもっていくのか、我々のクラブとしての特色を明確に出せるような奉仕の大枠を長期ビジョンの中で決めてもいいのではないか、あるいは事務局の在り方をどうするか。新入会員に対する教育方法や手順が年によって違うので、マニュアル的なものを作ったらどうだろうといったことも話し合われました。

それから、多額になってきた基金の規模や種類をきちんと決めて、ニコボックスのお金の運用方法もみんなで話し合っ決めていく必要があるのではないかとということも話し合われました。

もう一つ、大きな問題提起があります。いろいろな事業が行われておりますが、今まで終わってからの評価や反省がされていないということがあります。また、名南RCとして将来的にローターアクトとのかかわりをどうしていくかということを決める必要がありますし、20周年の予算規模およびその方向性等々を話し合っっていくべきだと思います。

反省としましては、どうしても長期ビジョン特別委員会そのものが、翌年の会長の運営方針の発表の場になっているという実態があり、本来の3年～5年を見据えてということからちょっとずれてきています。こういったことに関しても考えていくべきではないでしょうか。

また、長期ビジョン特別委員会で話し合ったものを時の理事会に答申していくということですが、そうしますと単年度で終わってしまいます。もし将来に向けてメンバー数を増やしていくのであれば、数年間は各会長は増やす方向で方針を立てられるべきですし、少ないメンバーで充実してやっていくのであれば、予算規模も人数に合わせていくといったことを明確に決めていかないと、長期ビジョンとしての在り方というものも非常に難しいのではないかとことごとく思います。

3年たって思い返してみますと、3年前に決めたことやどうしていったらいいだろうと話し合われたことが、現実には生かされておられません。もう一度考える必要があるのではないかと問題提起をさせていただいて長期ビジョン特別委員会の報告を終わりたいと思います。